

# 安全上のご注意

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

**警告**

本製品を使用する際は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。

**警告**

本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。  
火災や感電、故障の原因となります。また、故障時の保障対象外となります。

**警告**

本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。  
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

**警告**

本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置 / 保管してください。  
触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。

**警告**

火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V（50/60Hz）以外のコンセントを使用しないでください。

**警告**

本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。

**警告**

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。  
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

**警告**

ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。  
ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。  
傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。

**警告**

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。  
感電の原因となります。

**警告**

電源ケーブル（AC アダプター）を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。

**警告**

電源ケーブル（AC アダプター）を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

**警告**

水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。  
火災や感電、故障の原因となります。

**警告**

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。  
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

**警告**

本製品やコンピューター本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

**警告**

風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。  
通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

**警告**

本製品の周辺に放熱を妨げるような物や熱器具を置いたり、加熱しないでください。

**警告**

本製品やコンピューター本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

# 故障かな？と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。  
弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

また、弊社Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

**ヤノ販売株式会社**

**カスタマーサポート**

住所：〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F  
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983

電話による受付時間：月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）  
午前 9：30 ～ 12：00 ／ 午後 1：00 ～ 5：00

Web : [www.yano-sl.co.jp](http://www.yano-sl.co.jp)  
E-mail : [info@yano-sl.co.jp](mailto:info@yano-sl.co.jp)

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303（営業） Fax. 078-646-8982  
E-mail: [info@yano-sl.co.jp](mailto:info@yano-sl.co.jp) Web: [www.yano-sl.co.jp](http://www.yano-sl.co.jp)



548022P0461

# Trusty RAID 500e はじめにお読みください

このたびは、弊社製マルチインターフェース対応 RAID 装置 **Trusty RAID 500e** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

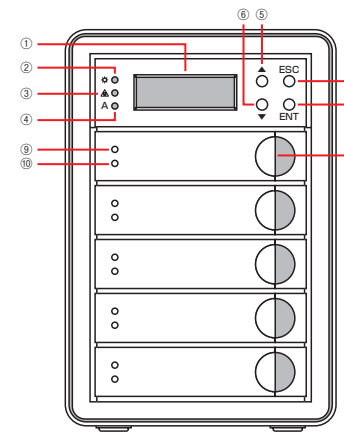
本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

## 構成品 パッケージ内容

- |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|
| <input type="checkbox"/> Trusty RAID 500e 本体 .....        | 1 台 | <input type="checkbox"/> USB3.0 ケーブル（A ⇄ B） ..... | 1 本 |
| <input type="checkbox"/> ファンモジュール .....                   | 1 個 | <input type="checkbox"/> AES キー .....             | 1 個 |
| <input type="checkbox"/> ドライブホルダー .....                   | 5 台 | <input type="checkbox"/> ユーティリティ CD .....         | 1 部 |
| <input type="checkbox"/> 電源ケーブル .....                     | 1 本 | <input type="checkbox"/> はじめにお読みください（本書） .....    | 1 部 |
| <input type="checkbox"/> FireWire ケーブル（9pin ⇄ 9pin） ..... | 1 本 | <input type="checkbox"/> スペックシート .....            | 1 部 |
| <input type="checkbox"/> FireWire ケーブル（6pin ⇄ 6pin） ..... | 1 本 | <input type="checkbox"/> 保証書 .....                | 1 部 |
| <input type="checkbox"/> eSATA ケーブル .....                 | 1 本 | <input type="checkbox"/> ユーザー登録カード .....          | 1 部 |
| <input type="checkbox"/> SATA - eSATA ケーブルキット .....       | 1 本 |   |     |

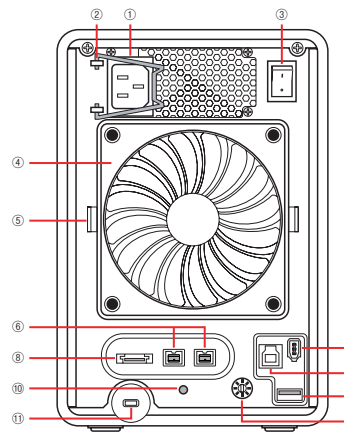
## 各部の名称とはたらき

### 前面



① 液晶パネル	本製品の状態を表示します。
② 電源ランプ	本製品に電源が投入されると青色に点灯します。
③ エラーランプ	本製品に何らかの問題が発生すると青色に点灯します。問題が発生してなくても、製品が Ready でなければ点灯します。
④ アクセスランプ	本製品の動作状況を示します。 ・青色（点灯）：本製品に通電 ・青色（点滅）：本製品にアクセス
⑤ ▲ボタン（上向き）	本製品の設定を行う場合は、▲ボタン / ▼ボタンで設定項目を選択します。
⑥ ▼ボタン（下向き）	定項目を選択します。
⑦ ESC ボタン	前のメニューに戻る時にこのボタンを押します。
⑧ ENT ボタン	選択した値を確定する時にこのボタンを押します。
⑨ ディスクアクセスランプ	ハードディスクの動作状況を示します。 ・青色（点灯）：ハードディスクに通電 ・青色（点滅）：ハードディスクにアクセス
⑩ ディスクエラーランプ	ハードディスクに何らかの問題が発生すると青色に点灯します。
⑪ レバー	ドライブホルダーを取り出すときに手前に引きます。

### 背面



① 電源コネクタ	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
② 抜け防止金具	電源ケーブルが抜けないように固定する為の金具です。
③ 電源スイッチ	本製品の電源を on/off します。[   ] 側に倒すと on に、[ ⊐ ] 側に倒すと off になります。
④ 背面ファン	冷却用のファンです。設置時に取り付けます。
⑤ 背面ファン留め具	背面ファンを固定する留め具です。
⑥ FW800 ポート	FW800/IEEE1394.b 用コネクタです。
⑦ FW400 ポート	FW400/IEEE1394.a 用コネクタです。
⑧ eSATA ポート	eSATA 用コネクタです。
⑨ USB ポート	USB3.0/2.0 用コネクタです。
⑩ 設定 / 消音ボタン	RAID の設定、もしくはアラーム音を止めるボタンです。
⑪ キーロック	盗難防止用のケーブルを取り付けることで本製品を盗難から防止できます。 Kensington セキュリティスロットの規格に準じた盗難防止キーをご使用ください。
⑫ AES キーポート	AES キー用コネクタです。
⑬ RAID 設定スイッチ	このスイッチを使って RAID の設定ができます。

## 本製品の電源を入れる前に

本製品は、輸送時の衝撃による損傷等を考慮し、精密機械であるハードディスク・ドライブを別梱包にしています。

ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で、上から数字順**にハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取り付けてください。また、ファンモジュールも同時に取り付けてください。

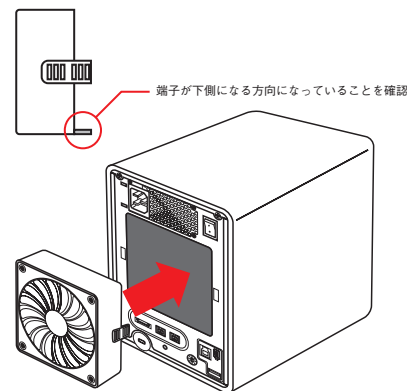
## ドライブホルダーとファンモジュールを本体に取り付ける際の注意

取り扱いの際は、衝撃を避けて移動や取り付けをしてください。

ドライブホルダーを重ねたり、ハードディスク本体を押さえたりしないでください。

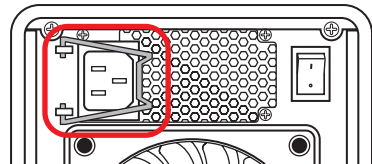
ドライブホルダーの数字を確認し、上から数字順に本体に取り付けてください。

ファンモジュールのコネクターが下側になるように本体に取り付けてください。

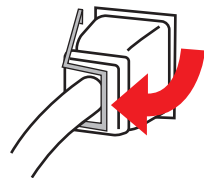


## 接続方法

1. 本製品の電源ケーブル抜け防止金具を寝かせた状態で、電源コネクターに付属の電源ケーブルをしっかりと接続します。



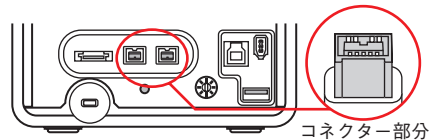
2. 電源ケーブル抜け防止金具を手前に引いて電源ケーブルが抜けないようにします。



3. 本製品を Macintosh / Windows コンピューターと接続します。

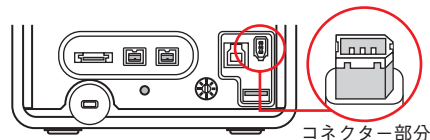
### ● FireWire800 で接続する場合

FireWire 800ケーブル (9pin⇔9pin) のコネクター形状と差し込む向きを確認し、本製品のFireWire800ポートにしっかりと接続します。



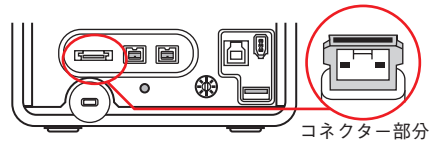
### ● FireWire400 で接続する場合

FireWire 400ケーブル (6pin⇔6pin) のコネクター形状と差し込む向きを確認し、本製品のFireWire400ポートにしっかりと接続します。

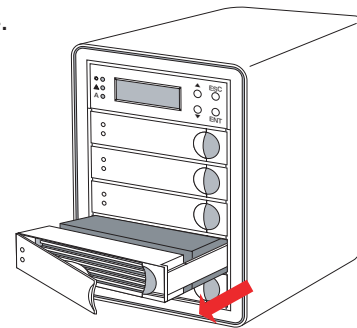


### ● eSATA で接続する場合

eSATA ケーブルのコネクターの形状と差し込む向きを確認し、本製品の eSATA ポートにしっかりと接続します。

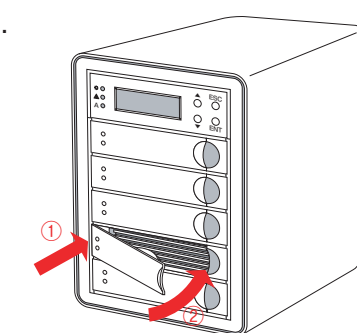


4.



レバーを持ってドライブホルダーを引き出します。

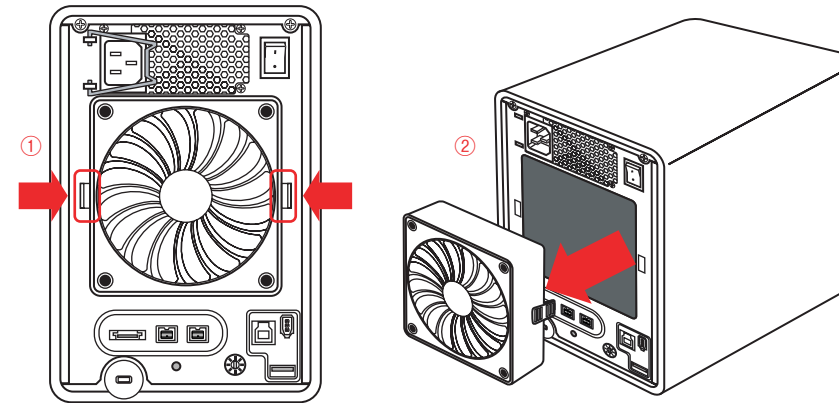
5.



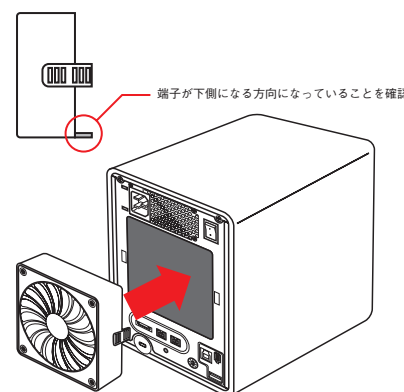
交換用ドライブホルダーをスロットに差し込みます。均等に力を入れて、奥に押し込んだあと、レバーを元の位置に戻します (カチッという音がします)。

## ファンモジュールの交換

1. 本製品のファンモジュールの両端の留め具を内側に押し込みながら、手前に引き抜きます。



2. 交換用のファンモジュールを端子が下側になる方向に差し込みます。



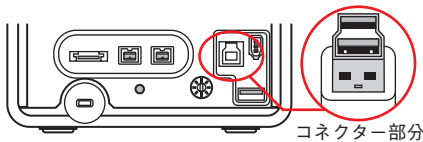
## データ保証について

本製品の中に作成、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合、弊社は理由の如何にかかわらずデータの保証をいたしかねます。必ずデータのバックアップを行ってください。



## ● USB で接続する場合

USB3.0ケーブルのコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品のUSBポートにしっかりと接続します。



## 4. 電源スイッチを ON にし、Macintosh / Windows コンピューターを起動します。

## 5. 本製品を初期化します。(Macintosh の場合)

本製品を Mac OS X でお使いの場合は、FireWire, eSATA, USB のいずれの接続でも「ディスクユーティリティ」を使って、初期化を行います。

### ディスクの初期化方法

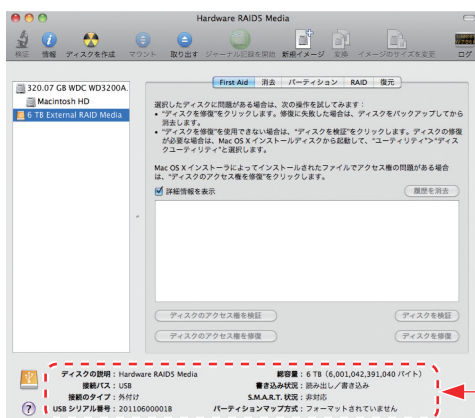
本製品を Macintosh に接続すると、「セットしたディスクは、このコンピュータで読み取れないディスクでした。」というダイアログが表示されますので [初期化] をクリックして「ディスクユーティリティ」を起動します。

※ダイアログが表示されない場合は、システム起動ディスク (通常は「Macintosh HD」) から「アプリケーション」の中の「ユーティリティ」にある「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。

ディスクのリスト表示の中から、初期化するディスク (ドライブ) を選びます。

※すでにデータが書き込まれたディスク (ドライブ) に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻せません。

#### 図例:RAID5、USB接続の場合



#### FireWire接続の場合

・ウインドウ下部にある【ディスクの説明】に「FireWire.」、【接続バス】に「FireWire」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【総容量】で確認します。

#### eSATA接続の場合

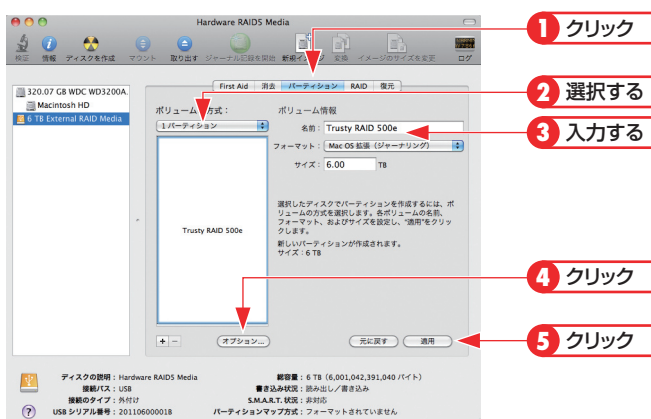
・ウインドウ下部にある【ディスクの説明】に「Hardware xxx Media」、【接続バス】に「SCSI」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【総容量】で確認します。

※ xxx には RAID レベルが表示されます。

#### USB接続の場合

・ウインドウ下部にある【ディスクの説明】に「Hardware xxx Media」、【接続バス】に「USB」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【総容量】で確認します。

※ xxx には RAID レベルが表示されます。



①【パーティション】をクリックします。

②【ボリューム方式】が「現在の設定」になっていますので、「1パーティション」に変更します。

③【フォーマット】を選び、必要に応じて【名前】を入力します。名前を入力した後にキーボードの return キーまたは、enter キーを押し、入力した名前がパーティションマップに反映されていることを確認します。

④【オプション】をクリックします。パーティション方式を選択する画面が表示されるので、「GUID パーティションテーブル」を選択して [OK] をクリックしてください。

⑤初期化を実行してよければ、【適用】をクリックします。

確認ダイアログが表示されますので、内容に問題がなければ [パーティション] をクリックします。

## 6. デスクトップにドライブアイコンが表示されます。

FireWire800/400  
接続時



eSATA 接続時



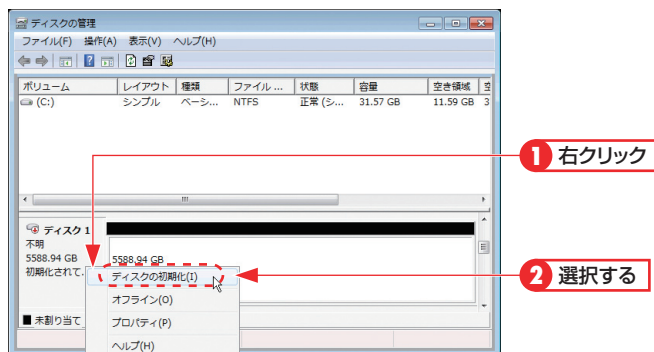
USB 接続時



## 7. 「ディスクユーティリティ」を終了します。

## 8. 本製品を初期化します。(Windows の場合)

### ディスクの初期化方法



[管理ツール]の[コンピュータの管理]を起動します。

[管理ツール]は以下の場所にあります。

Windows Vista : [スタート]ボタン → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス]

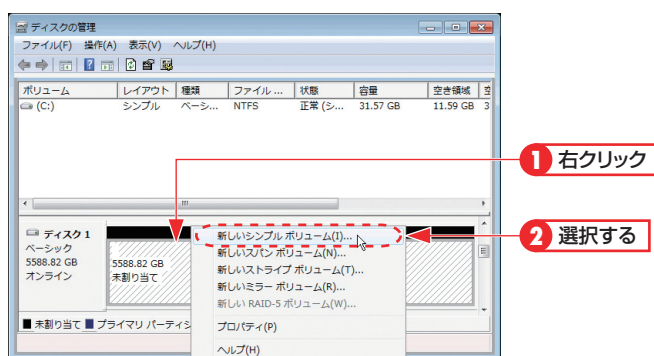
Windows 7 : [スタート]ボタン → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]

「記憶域」の「ディスクの管理」を選択します。

本製品のディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、メニューの「ディスクの初期化」を選択します。

<ディスクの初期化>画面が表示されますので、初期化するディスクにチェックを入れ、GPT(GUID パーティションテーブル)を選択して[OK]をクリックします。

### ボリュームの作成方法



パーティションを作成するディスクのパーティションのエリアマップを右クリックし、メニューの『新しいシンプルボリューム』を選択します。

<新しいシンプルボリューム ウィザード>画面が表示されますので、画面の表示に沿って操作してください。通常は設定を変更する必要はありません。

初期化についての詳細は各 OS のヘルプやマニュアルをご参照ください。

※この画面は一例です。実際に画面に表示されるディスクの数やディスク情報はお使いの環境によって異なります。

## ドライブホルダーの交換と復旧作業

### ●作業を始める前に必ずお読みください

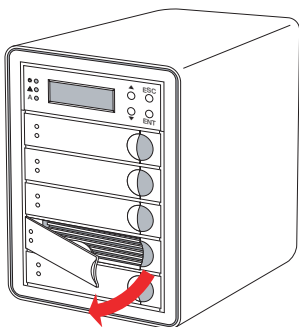
- ・事前に必ずデータのバックアップを行ってください。
- ・障害時にはホットスペアディスクにより自動復旧動作(オートリビルド)が実施されます。  
※ Windows 環境においては、ソフトウェアのインストール／常駐が必要です。
- ・自動復旧動作が完了するまで、10 時間程度を要します。
- ・復旧動作中の本製品に対しても、読み出しや書き込みを行えますが、正常時よりも読み書きに時間がかかります。また、復旧作業中に読み出しや書き込みを行うと、復旧が完了するまでの時間が長くなりますのでご注意ください。

1. 初めてドライブに障害が発生した際は自動で復旧動作が開始します。ホットスペア(予備)として設定されているドライブが障害の発生したドライブに置き換わります。

2. 10 時間程度経過すると、復旧動作が完了します。

完了後、障害が発生したドライブのランプは点灯したままの状態です。

3.



障害が発生したドライブホルダーを取り外します。  
ドライブホルダーのレバーを手前に引きます。